



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝：9:30～10:45am
 コヒー・アワー：日曜日 10:45～11:15am
 聖書の学び：日曜日 11:15～12pm
 みふみ会：水曜日 10am
 定例祈禱会：水曜日 7:30pm
 早天祈禱会：土曜日 7am
 家庭集会：各地区に2箇所
 牧師：杉村 幸（日本語）
 益田デーロ（英語部）
 電話：(714) 827-6244(教会)
 (714) 527-1456(牧師館)
 E-Mail：sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ：www.occc.org
 教会所在地：4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

ルカ伝に貧しいやもめの記事が載っていて、主イエスは、「よく聞きなさい。あの貧しいやもめはだれよりもたくさん入れたのだ」(二一・3)と褒めている。彼女は貧しいながらも、持っている全部を捧げたからである。どんなに神に信頼していたかが分かるというものである。このペドロの場合も、見ず知らずの旅人を助けるという愛に溢れ、献金も人に知られないように捧げる謙った心が神の心を震わせたのである。愛と謙遜な心ほど神に喜ばれるものはない。

「鐘を鳴らすのは誰」②
 ひとりじゃ運べないからね」「でも…」「教会に行ったら、兄ちゃんの分まで、何でもよく見て、よく聞いてきておくれ。兄ちゃんがどんなにイエス様の誕生日のお祝いに行きたいと思っていることか、イエス様はご存じだ。そうそう、だれも見ていないときに、そっと祭壇のところへ行行って、この銀貨をおいてきてくれなにか」。ペドロはそういうと、銀貨を一枚、弟の手に握らせたのでした。
 その夜の教会は、いつにもまして光輝いていました。オルガンにあわせただけ何千人もの美しい歌声が響いていました。礼拝の終わり近く、贈り物をささげる人の行列が続きました。輝く宝石をもった人。金のかたまりをかごに入れていく人。何年もかけて書いた本を祭壇の上におこうとしている偉い学者。行列の最後は、この国の王様でした。王様が宝石をちりばめた冠をぬいで祭壇においたとき、人びとは一斉にどよめきました。鐘は、今度こそ、なりだすだろうと思ったのです。しかし、聞こえてくるのは、風の音ばかりです。がっかりした人たちの中には、これまでもあの鐘はなったことなどない、と言う人もいました。礼拝も終わりに近づき、聖歌隊が最後の賛美歌を歌いだしたときでした。突然、オルガニストが、何を思ったのか、オルガンをひくのをやめました。それを機に、礼拝堂の中がしーんと静まりかえりました。そのときです。人びとの耳に、かすかに、でもはっきりと、美しい鐘の音が響いてきたのです。いままで誰も聞いたことのない、澄んだ清い調べ：長いこと眠っていた鐘が、目を覚ますようになりだしたのです。人びとは驚きのあまり、しばらくは、ものが言えませんでした。いったい、どんな素晴らしい贈り物がおかれたのでしょうか？ 人びとは、一斉に立ち上がって、祭壇を見つめました。人びとの目にうつったのは、小さな子どもの姿でした。ペドロの弟は、だれも見えていないときに、兄ちゃんに渡された一枚の銀貨を、そっと祭壇のかたすみにおいたのです。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

